

2004年度の神奈川県国際交流協会の主な事業

2004年4月～2005年3月

当協会では、「総合的な学習の時間」の導入を契機にニーズが高まっている国際理解教育に対応するとともに、地球市民学習について学ぶ機会を県域全体へ広げるため、あーど 35号の国際理解展示と連動した貸出教材「カレーキット」を開発しました。

2004年度は、上記の教材を活用した地球市民学習の広域的展開に着手するとともに、多言語情報を外国籍県民に確実に届ける施策の充実を目指し、外国籍県民やNGOとのネットワークを活かして、「多言語情報の流通」に係わる調査研究事業を実施します。また、NGOの拠点機能を強化するため、前年度に新設した民際協力基金「NGO等協働事業」枠を活用し、NGOとの協働事業を拡充します。その他の主要事業については、下記の事業予定をご覧ください。各事業の詳しい内容については、今後発行される「Hello Friends」紙上でご案内します。

セミナー・講座

英会話講座(春期・秋期)

国際交流・国際理解に必要な英会話を学びます。神奈川県友好提携先である米国・メリーランド州から、「第二言語としての英語(ESOL)」の専門資格を持つ講師を招聘します。

ことばと文化セミナー

アジアや中南米などの学ぶ機会の少ないことばに触れ、その文化を学びます。楽器や舞踊ダンスの体験セミナー、料理講座を開催します。

食と暮らしのセミナー

「食」を通じて、文化の多様性について学ぶセミナーを開催します。

あーすシアター上映会

世界の様々な文化を学ぶため、毎月1回映画の上映会を開催します。

留学生トークタイム

プラザ「こどもの国際理解展示室」等において、アジアや中南米などにゆかりのある講師が、生活文化等の紹介を行います。

こども地球市民クラブ(夏休み・春休み)

こどもを対象に、民族楽器等の演奏を通じた多文化理解ワークショップを実施します。

地球市民学習リーダーセミナー

地球市民学習の概念と、実践に必要な具体的なノウハウを提供するセミナーを開催します。

イベント・企画展示

あーすフェスタかながわの開催

「多文化共生」をテーマに、シンポジウムや民族芸能ステージなどを開催します。

地球市民フォーラムの開催

「貧困・紛争の犠牲になる世界のこどもたちの現状」をテーマにシンポジウムやセミナーを開催します。

カナガワビエンナーレ国際児童画展

2005年4月の展覧会に向けて、第13回児童画展の作品募集を行います。

展示企画「パレスチナ難民の半世紀」展

第一次中東戦争で家や生活の糧を失ったパレスチナ難民の暮らしを、写真等で紹介します。

国際交流・協力ポスター作文コンテスト

県内の学校からポスター・作文を募集・表彰を行うとともに、作品展を開催します。

NGO等への支援・協働

民際協力基金による助成・協働事業

国際協力活動を行うNGOに資金助成します。助成申請受付は、春(4～5月)と秋(10～11月)の2回。また、地域の国際化に関わるプロジェクトの企画を公募し、協会と協働して実施します。

NGO等共同研究事業

外国籍県民支援NGO等と連携し、「多言語情報の流通」をテーマに、調査研究事業を実施します。

県内国際交流協会連絡協議会

県内市町国際交流協会職員の情報交換と研修を行います。

情報提供・相談

インターネットを活用した情報発信

留学生による海外レポートを協会ホームページで発信するとともに、NGO情報を掲載したメールマガジンを発行します。

情報誌の発行

協会機関誌「Hello Friends」「サラダボウル」ともに隔月、「地球市民レポート」年3回を発行します。

その他

スタディ・ツアーの派遣

県内の青少年を対象に、カンボジアへのスタディ・ツアーを実施します。

地球市民学習教材の貸出

異文化理解の促進を目的として開発したスーツケース教材「カレーキット」を、学校等の教育関係機関に貸出します。

神奈川県国際研修センターの運営

神奈川県が受け入れる海外技術研修員及び私費留学生などの宿泊・研修施設(横浜市旭区)を運営し、各種研修、地域との交流事業などを実施します。

神奈川国際学生会館の運営

私費留学生のための学生会館(横浜市旭区、相模原市)を運営し、交流事業などを実施します。

A Life like Mine: How children live around the world (UNICEF , 2002)



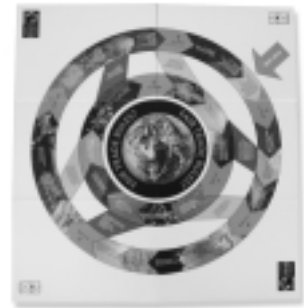
美しい写真と共に世界中の子どもたちの生活、考えを知ることができる本。カテゴリは、「サバイバル」「開発」「保護」「参加」。障害を持って生活をするということについても取り上げられている。とてもポジティブな子どもたちの姿を見ることができる。小学生から高校生まで、あらゆる場面で活躍しそうな本。授業の中で、「家」や、「水」などの各項目を教えるときに、この本の該当のトピックを紹介することもできる。

In the Eye of the Storm: Life on an island in Bangladesh (Action Aid , 2000)



教室で大勢に向けて使えるBigBook。バングラデシュのある家族を紹介している。美しく大きな写真が載っていて、いきいきと生活する家族の様子がわかる。「あなたは何を朝ごはんに食べましたか?」「なぜきれいな水を飲む必要がありますか?」など子どもたちへの質問もついている。バングラデシュの学校生活についても知ることができる。統計資料つき。ビデオもあり。

Fair Trade in Action (RISC , 2002)



貿易についての理解を深めるために作られた教材。ボードゲーム(すごろく)、教師用ガイド、ビデオから構成されている。目的にあわせていくつものアクティビティが紹介されている。11~14歳むけ。ココア、紅茶、コーヒー、バナナ、オレンジ、綿の貿易について扱っている。

「教材コーナー」に新しい海外教材が入りました!

総合学習などで利用できるキット教材やビデオ、参考図書を読覧できる「教材コーナー」(2F・情報フォーラム内)に新しく海外教材のコーナーができました。英国のNGO等が作成したBig Book、写真教材、ボードゲーム、ワークショップ手引き、ポスターなど、視覚に訴える教材を中心に約130点あり、「学び」をつくるための刺激的なヒントがあふれています。英語が堪能でなくても、楽しいアイデアや新しい情報をクラスの授業に生かします。ぜひ手にとって見てください。 問合せ:企画情報課 月曜休み TEL:045-896-2896

The Earth from the Air: For children (Thames & Hudson , 2002)



フランスの写真家が取った航空写真に、子どもむけの様々なメッセージが添えてある写真集。写真は、大変印象的で、「持続可能な開発」の視点を含んでいるものが多い。さまざまな授業の導入に効果的に使える教材。

Toys and Tales: With everyday materials (Tara Publishing , 1999)



伝統的なものも含め、インド各地方のおもちゃの作りかたを説明。紙、ひも、葉っぱ、ボタンなど身近な材料で作ることができる音なるおもちゃ、踊るおもちゃなどを紹介している。8~12歳むけ、13~16歳むけ、大人むけのページがある。図工の時間や総合学習、ワークショップ等で活用できそう。

Get Global! A Skills Based Approach to Active Global Citizenship (Action Aid , 2003)



11~16歳の生徒との地球市民教育の学習の進め方や評価の仕方について扱われている教師用教材。総合学習など、ひとつのトピックについて深く学ぶ機会を提供する際の学習の組み立てのヒントを与えてくれる。アクティビティーも多く紹介されている。

「学校とNGOをつなぐリソース調査」を実施しました

協会では、昨年11月~12月に、神奈川県内のNGO等(206団体)にアンケート調査を行い、各団体が学校に提供できるリソース(講師派遣の有無や教材等)情報を収集しました。「学校に講師派遣を行っている団体(60団体)」「教材を開発している団体(27団体)」「スタディツアーを開催している団体(32団体)」については、神奈川県内の教育関係者の方々に広く役立ていただくため、当協会のホームペ

ージ(<http://www.k-i-a.or.jp>)に掲載するとともに、一部、報告書「グローバル時代の国際理解教育にむけて」でも紹介しています。団体の連絡先など、より詳しい情報については、企画情報課までお問い合わせください。また、リストに載っていない該当団体がありましたら、情報をお寄せいただくと幸いです。

問合せ:企画情報課 月曜休み TEL:045-896-2896

貸出開始！ スーツケース教材「カレーキット」 をご利用ください



校外学習での
スパイス体験の様子

カレーという身近な「食」を切り口に、子どもたちと文化の多様性や相互依存関係について学んでみませんか？

このキットは学校などの学びの場で、子どもたちが実際の「モノ」にふれながら、自分と世界とのつながりを主体的に学んでいくきっかけづくりの道具箱です。

キットにはスパイスを始め、石臼、食器、衣装などの生活関連グッズが詰まっています。スーツケースを開けたとたんにスパイスの香ばしい香りがあたり一面に広がってきます。

当協会が運営する県立地球市民かながわ

プラザ(= あーど ぷらざ) のこどもの国際理解展示室には、ネパールのアニサちゃん、タイのチャークリン君の復元家屋を始め、インド、バングラディッシュなどカレー文化圏に入る地域の様々なモノが展示され、多様な文化に五感を使って触れ合うことができます。

例えばこうした施設の利用との組み合わせで、学びの可能性は無限大に広がっていきます。

教室を飛び出し、地域の中の多文化に出会う旅の道具としてこのスーツケースを活用していただけたら幸いです。

貸出について：

【貸出期間】2週間以内

【貸出料金】3,000円(試行期間料金として2004年9月末まで1,000円)

【貸出方法】宅配便あるいは直接事務所にて引き渡し。(送料はご負担ください)

貸出手順：

予約

キットの利用状況を電話で確認して利用希望日を予約してください。

申込書の提出

遅くとも利用日の10日前までをお願いします。(「申込書」はホームページからダウンロードできます)

協会にて申込書を確認後、「承認書」をファックスでお送りします。

*これで手続きは完了です。

キットの到着・ご利用

キットの返却

貸出料の払い込み

(貸出開始日から一ヶ月以内)

問合せ・申込先：

地球市民学習課 月曜休み

TEL：045-896-2898

キット 内容



- ・解説書(授業例など含む)
- ・スパイスについて解説したガイド
- ・ネパール音楽CD
- ・お皿、弁当箱など食器セット
- ・石臼
- ・スパイスセット
- ・衣装(サリー) など

報告書

グローバル時代の国際理解教育にむけて ～グローバル教育と多文化共生のインターフェイス～

外国人児童生徒を対象とする多文化共生教育と、おもに「日本人」の児童生徒を対象とする国際理解教育とが、多くの場合、別の枠組みとされて、ほぼ接点をもたないままに、それぞれの実践が生み出されている現状があります。そこで協会では、2003年度、グローバル教育と多文化共生教育のインターフェイス(節合)をテーマにした研究会を設置しました。

この報告者には、教員、NPO、教育行政、研究者が、それぞれの立場から「グローバル教育・多文化共生教育インターフェイス研究会」の場でおこなった、実践報告と討議の記録、関連する多くの資料や論文等が掲載されています。

身近にいる外国籍児童生徒とともに生きるために、そして彼ら・彼女らが経て来た移動の背景をグローバルな観点から理解する

ために試みられた「移民」をテーマにした博学連携の実践は、多くの方々の参考になると思います。また、教室の内と外をつなぐさまざまな試みの経験を共有するために、同研究会が企画したフォーラム「これからの国際理解教育を提案する！」の記録も掲載しました。

さらに、グローバル教育、多文化共生教育の分野で、学校との連携をはじめつつあるNGOに対しておこなったアンケート調査の記録も併録しました。資料もふんだんに掲載しましたので、関心のある方は、以下の要領でお申し込みください。

返信用封筒(A4が入るサイズ)に340円切手を貼って協会宛にお送りください。

〒247-0007

横浜市栄区小菅ケ谷1-2-1 あーど ぷらざ 1階

神奈川県国際交流協会 企画情報課

問合せ：企画情報課 月曜休み

E-mail：kikaku@k-i-a.or.jp

TEL：045-896-2896

One Heart, One World NHKハート展 ブルガリアの美術高校生による 平和への祈り 絵画展

障害のある人が日常生活の中で感じたことをつづった詩と、その詩から感じとったものを、さまざまな分野で活躍している著名人やアーティストが、「ハート」をモチーフに表現した絵のコラボレーション50組の展覧会『One Heart, One World NHKハート展』と、「平和へのメッセージ」をテーマにブルガリアの美術高校生が描いた作品32点の展覧会『ブルガリアの美術高校生による 平和への祈り 絵画展』を、同時開催します。

会 期：2004年6月4日(金)～27日(日)
月曜日休館
午前9：00～午後5：00
会 場：**あーだ びゅど** 3階 企画展示室
入場料：無 料
問合せ：地球市民学習課 月曜休み
TEL 045-896-2898



ひとつの太陽はみんなのために
イリヤナ・カンチエヴァ
『ブルガリアの美術高校生による 平和への祈り 絵画展』より

民際協力基金助成団体が決まりました

2003年度後期 かながわ民際協力基金 助成決定事業(2件)

第67号

『日本国内に在住する難民への相談業務及び神奈川県内のネットワークを活用した難民へのサービス提供』

団 体：(特活)難民支援協会

*継続事業

助 成 額：132万円

助 成 枠：国内協力

事業概要：神奈川県内のNGO、自治体等と連携しつつ、国内在住の難民への相談活動、法的・生活自立支援等のサポートを行う。

第68号

『「日本語を母語としない人たちのための」高校進学ガイダンス』

団 体：多文化共生教育ネットワーク
かながわ *継続事業

助 成 額：53万円

助 成 枠：国内協力

事業概要：外国籍の子どもや保護者、支援者を対象とした高校進学ガイダンスの実施、ガイドの発行、進学までの支援を行う「多文化サポーター」の設置を行う。

ピースメッセンジャー報告会

協会は、2004年3月に、ルワンダで義足作りを行うNGO「ムリンディ・ジャパン・ワンラブ・プロジェクト」を訪問しました。このツアーの参加者とともに報告会を行う予定ですので、大勢の皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は下記までお問い合わせください。

問合せ：国際協力課(担当：富本) 月曜休み

TEL：045-896-2964 FAX：045-896-2945 E-mail：minsai@k-i-a.or.jp

Hello friends 2004年5月1日発行
第238号

発行/財団法人 神奈川県国際交流協会
〒247-0007
横浜市栄区小菅ヶ谷1丁目2番1号
神奈川県立地球市民かながわプラザ1階
045-896-2626 FAX.045-896-2945
URL：http://www.k-i-a.or.jp
E-mail：kikaku@k-i-a.or.jp
印刷/株式会社エイコープリント

今年度新たに、国際理解を進めるための教材として、「カレーキット」を開発し、貸し出しを開始した。カレーは明治の文明開化時にパン、牛肉などと共に外国から伝えられた料理であるが、今では学校給食にも取り入れられ、最も人気があるメニューになっている。身近な料理となったカレーを糸口にして、食文化の差異やその背景を感じてもらいたいという思いで作成したのがこのキットである。「カレーキット」を学校の授業等に利用し、感想やご意見をお聞かせいただきたい。今後、皆様のご意見を基に改良を加え、また、新たなキットの開発にも着手したいと考えている。

地球市民学習課 松本 清史

キャラバン・サライとは、かつてシルクロードにあった隊商宿。文化・情報の中継点となっていました。協会職員からのメッセージ発信の場となるよう名付けました。

神奈川県国際交流協会(KIA)は - 地球のすべての人が、国境や人種、文化の違いを越えて、人間らしく暮らせる社会の実現のため、人と人とのつながりを大切にしたい「国際交流」「国際協力」を推進するさまざまな事業を展開しています。

あなたも会員になりませんか?

学生会員制度もスタート!

協会の活動を支える会員を募集しています。会員になると

協会が主催する各種催しや国際交流団体、NGOの催し情報、ボランティア情報を掲載した『Hello Friends』『サラダボウル』をお送りします。

当協会の出版物や各種催物の割引サービスが受けられます。

会員の方を対象にした催しへご招待します。『エスニック・レストラン・マップ』をお送りします。

会員証の提示で、提携エスニック・レストランの優待サービスが受けられます。

あーだ びゅどのレストラン「メルヘン」でお食事の場合、会員証の提示で、コーヒー、紅茶、グラスワイン、ソフトドリンクの一品サービスが受けられます。

あーだ びゅどショップ「ベルダ」で2,000円以上(税別)購入の場合、会員証の提示で10%割引が受けられます。

年会費：一 般	3,000円から
学 生	1,500円から
団 体	10,000円から

*会員登録をご希望の方は、協会までお問い合わせください。振込用紙など関係資料をお送りします。

当協会は、2003年4月より、**あーだ びゅど**の施設運営を含めた全事業を神奈川県から受託しました。



このほか、神奈川県国際研修センターと神奈川県国際学生会館を運営しています。

キャラバン・サライ

多様な文化的背景を持つ人々がお互いの違いを認め合いながら生きていくには、まずは、世界のさまざまな地域の文化を知ることがある。

世界には多様な文化があるが、「食」についても、気候・風土・宗教などの違いから、地域ごとに、食材、調理方法、食べ方などが異なる。「食」の違いを感じることが異文化を理解する上で一つの方法であり、当協会でも、従来から「食と暮らしの体験セミナー」の開催、「かながわエスニックレストランマップ」の作成など、食を通して異文化理解を図る事業を行っているところである。